

10月2日：売り圧力が高まり、相場は崩れる

VN 指数は 1000 ポイントを維持できなかった。1000 ポイントに近づくと売り圧力が高まり指数は下落した。

ホーチミン取引所の VN 指数は 0.84% 下落し 991.19 ポイントで取引を終えた。

出来高は 1 億 7900 万株で売買代金は 4.24 兆ドンであった。

火曜日には 0.3% 上昇し 999.59 ポイントで取引を終えていた。

VN 指数が 1000 ポイントを試す動きは 2 回目だったが、引けまで上昇モメンタムを維持することはできなかった。

サイゴンハノイ証券によると、このモメンタムは投資家の期待に影響を与えるかもしれないとのことだった。

水曜日の乱高下は、世界的な株式市場の下落トレンドによるものだった。

SP500 指数とダウ指数は直近 1 か月で最も下落した。工場の稼働状況が 10 年において最低レベルに達しているというデータが発表されたことを受けてだった。そのことが米中貿易摩擦による 2 大経済を衰退させるとの懸念を抱かせた。

ダウ平均指数は 343.79 ドル下落し 26573.04 ポイントで取引を終えた。SP500 指数も 36.49 ポイント下落し 2940.25 ポイントで取引を終えた。8 月 23 日にトランプ大統領が米国企業に対し中国ではなく他の取引先を探せと発言して以来の下落となった。ナスダック指数は 90.65 ポイント安の 7908.69 ポイントで取引を終えた。

大型株を中心に相場を押し下げた。ビンググループ(VIC)(-1.6%)、ベトコムバンク(VCB)(-1.7%)、ペトロベトナムガス(GAS)(-2.5%)、マッサングループ(MSN)(-2.3%)、ビナミルク(VNM)(-0.8%)、ビンコムリテール(VRE)(-2.1%)、ベティンバンク(CTG)(-1.4%)、ビンホームズ(VHM)(-0.2%)などが下落した。

セクター別では、ホールセール、小売、保険、不動産、エネルギー、銀行、IT、農業、飲食料品、水産加工、建設資材、物流などのが下落した。

ハノイ取引所の HNX 指数は 0.55% 下落し 105.27 ポイントで取引を終えた。

出来高は 2230 万株で売買代金は 3120 億ドンであった。

火曜日に同指数は 0.76%下落し 105.85 ポイントで取引を終えた。

外国人投資家はホーチミン取引所で 3457.4 億ドンの売り越しだった。ファットダット不動産開発 (PDR) (890 億ドン)、ビナムルク (VNM) (615 億ドン)、ビンググループ (VIC) (419 億ドン)などに売りが集まった。ハノイ取引所でも売り越しで 55 億ドンほどであった。

ディスクレイマー

このニュースは、投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資に関する決定はご自身の判断でなされますようお願い申し上げます。このニュースは、信頼できると考えられる FiinPro という情報源に基づいて作成されていますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。このニュースは、Japan Securities Incorporated (JSI) から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。このニュースのいかなる部分も一切の権利は JSI に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。